

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会… 3月31日 期末配当……… 3月31日 中間配当……… 9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] http://www.seiko-co.com/
単元株式数	100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)

■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

◎ホームページのご案内◎

最新のIR情報につきましては、
当社のホームページ「IR情報」を
ご参照ください。

<http://www.seiko-co.com/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



証券コード：6286

第119期 株主通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

あなたのそばに 静甲グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静甲です



INDEX

静甲グループの事業領域……………	02	連結財務諸表……………	07
ごあいさつ……………	03	トピックス……………	09
財務ハイライト……………	04	会社概要／株式の状況……………	10
事業別の概況……………	05		

産業機械事業

包装機械等の製造販売、修理・改造



電機機器事業

FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

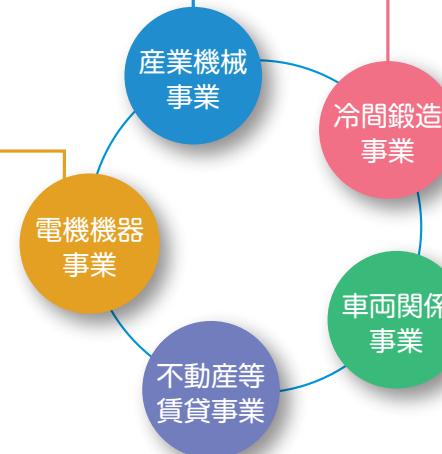
冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売



グループ会社

- 日本機械商事株式会社（連結子会社）
包装機械の販売
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車の販売・修理
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
車両レンタル・リース業、ガレージ業
- 株式会社共和テック（連結子会社）
一般産業機械の設計・製作、受託設計
- 静岡バイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売・修理
- 株式会社PUREST（連結子会社）
ポルシェ車の販売・修理
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社
- 有限会社清水久米タイヤサービス

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。さて、当社第119期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申しあげます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済・社会活動が急速に停滞し、景気が悪化しました。第3四半期に入り緩やかな回復の兆しがみえたものの、変異株による感染の再拡大がみられるなど事態収束の兆しは見え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当連結会計年度の当社グループの売上高は、産業機械事業及び冷間鍛造事業は前連結会計年度の実績を上回ったものの、電機機器事業及び車両関係事業は前連結会計年度の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前連結会計年度5.0%減の316億6千6百万円となりました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減とIT投資効果により、営業利益は前連結会計年度94.7%増の7億7千8百万円、経常利益は前連結会計年度84.3%増の8億9千5百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は、車両関係事業及び冷間鍛造事業並びに不動産等賃貸事業において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、土地・建物等について14億8千1百万円の減損損失を特別損失として計上したため、8億4千7百万円（前連結会計年度は2億6千8百万円の利益）となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき8円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき16円とさせていただきます。

来期の見通しについて

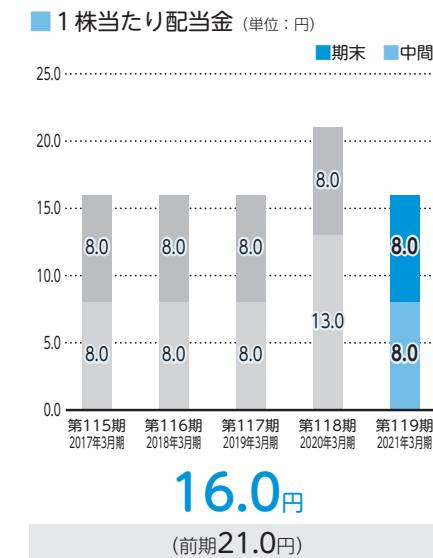
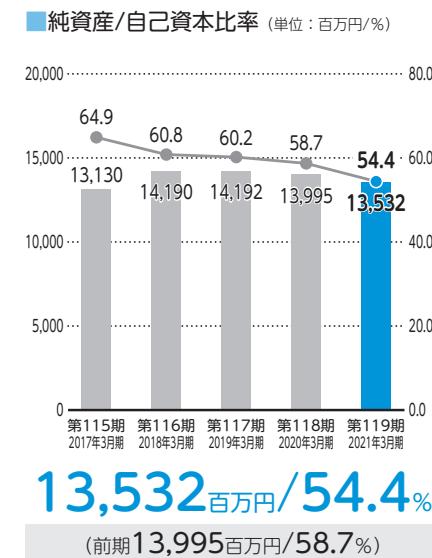
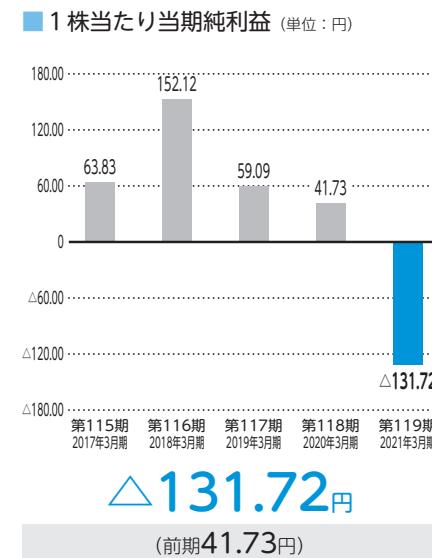
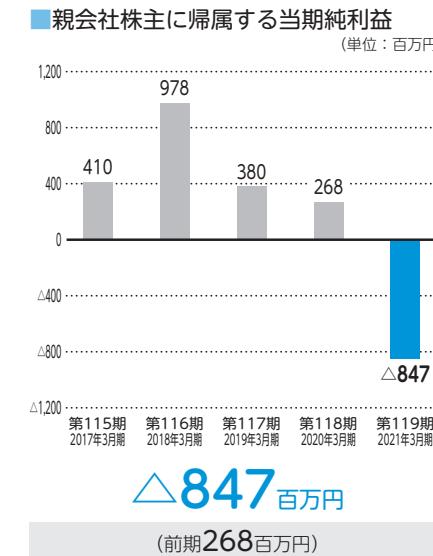
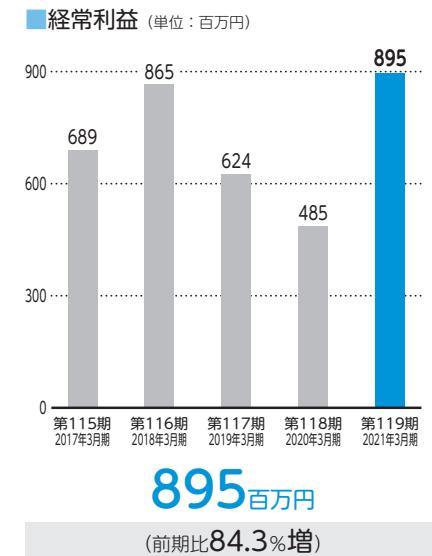
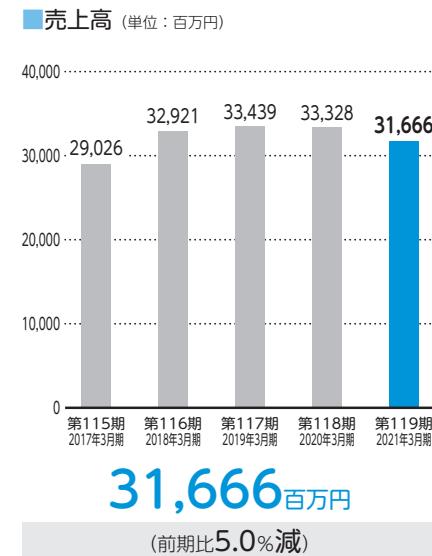
当社グループの次期の見通しにつきましては、産業機械事業では、小型・中型機の引き合い案件は好調ではありますが、前年のような大型の液体充填ラインの引き合いが少ないため、当連結会計年度を下回る見込みであります。電機機器事業では、冷熱機器、空調設備工事は当連結会計年度の実績を下回る見込みであります。主力のF A関連機器で半導体関連の設備投資が好調であり、自動車関連の設備投資需要も回復基調にあるため当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。また、空調機器用部材及び設備機器は堅調に推移する見込みであります。これらを要因として、電機機器事業全体では当連結会計年度を上回る見込みであります。冷間鍛造事業では、自動車部品は堅調に推移し、電動工具部品も、引き続き主要納入先向け製品の増産が期待されるため、当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。さらに、産業機械部品においては新規製品が量産開始となったため、当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。これらを要因として、冷間鍛造事業全体では当連結会計年度を上回る見込みであります。車両関係事業では、当連結会計年度に投入した新型レヴォーグが引き続き堅調に推移し、さらに新型B R Zの投入予定もあり、登録車の販売台数が増加することが期待されるため、当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。

以上によりまして、2022年3月期における当社グループの売上高は330億円、営業利益は5億円、経常利益は5億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億5千万円となる見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

取締役社長 鈴木恵子



産業機械事業

売上高
7,454百万円
(前期比18.1%増)

営業利益
854百万円
(前期比92.2%増)

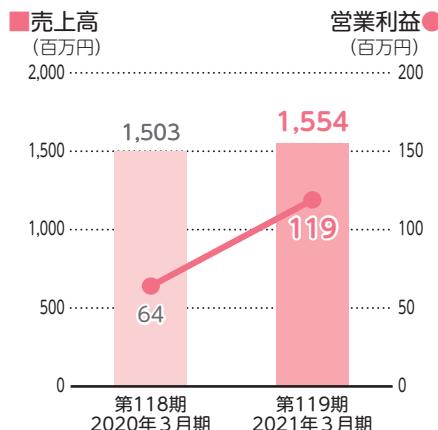


概況
包装機械は、期の前半にコロナ禍で出張を伴う改造工事・保守メンテが中止や延期となりましたが、アルコール製剤、消毒液、石鹼、洗剤等の設備の需要が高まり、医薬品、洗剤メーカーからの商談、受注がスポット的に増加し、大型の液体充填ラインの売上が増加したことにより、前連結会計年度の実績を大きく上回りました。さらに、小型・中型機も堅調に推移しました。

冷間鍛造事業

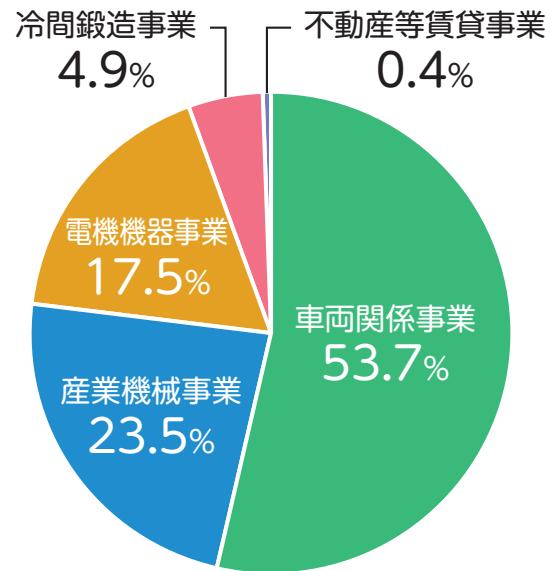
売上高
1,554百万円
(前期比3.4%増)

営業利益
119百万円
(前期比84.4%増)



概況
冷間鍛造事業は、期の前半に自動車メーカー各社の生産縮小や工場の停止による影響を受け、第2四半期までは前連結会計年度の実績を大きく下回りました。第3四半期以降は全ての分野において受注が回復し、生産高も増加しました。これにより、自動車部品、電動工具部品は前連結会計年度の実績を上回りました。一方、産業機械部品は、第3四半期以降の売上が第2四半期までの落ち込みをカバーするまでには至らず、前連結会計年度の実績を下回りました。

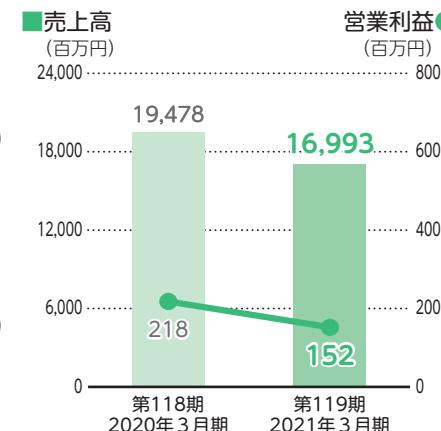
売上高合計
31,666百万円



車両関係事業

売上高
16,993百万円
(前期比12.8%減)

営業利益
152百万円
(前期比30.1%減)

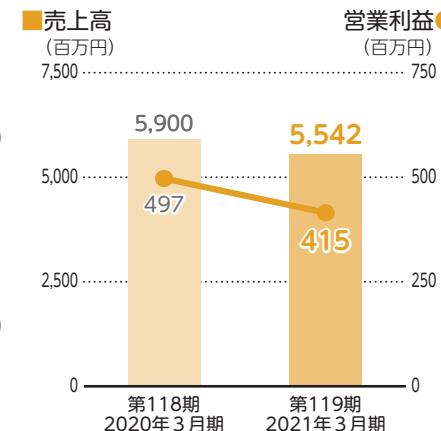


概況
新車販売は、第3四半期にスバルXV、インプレッサ、フォレスターのマイナーチェンジが実施され、それに合わせたキャンペーンや購入支援パッケージを投入するなど増販に努めたほか、新型レヴォーグも発売され、下期は回復基調となること期待されました。しかし、第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響を、また、第4四半期には半導体不足の影響を受けたため、新車販売、中古車販売で前連結会計年度の実績を大きく下回りました。なお、サービス部門はほぼ前連結会計年度並みの実績となりました。一方、輸入車販売は前連結会計年度の実績を上回りました。

電機機器事業

売上高
5,542百万円
(前期比6.1%減)

営業利益
415百万円
(前期比16.4%減)



概況
冷熱機器は、新築工事案件が少なかったものの、小口案件の取り込みに注力した結果、前連結会計年度の実績を大きく上回りました。また、空調機器用部品、設備機器も前連結会計年度の実績を上回りました。一方、主力のFA関連機器は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響により自動車関連などの静岡県内製造業向け設備案件が減少したため、前連結会計年度の実績を下回りました。また、空調設備工事も前連結会計年度と比較して大型案件が少なかったため、前連結会計年度の実績を下回りました。

不動産等賃貸事業

売上高
122百万円 (前期比8.6%減)

営業利益
1百万円 (前期比93.7%減)

連結貸借対照表

	当 期 2021年3月31日現在	前 期 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,898,125	12,378,317
現金及び預金	6,487,543	4,658,105
受取手形及び売掛金	3,497,224	3,944,581
たな卸資産	3,552,647	3,086,524
その他	382,052	708,019
貸倒引当金	△ 21,342	△ 18,913
固定資産	10,994,126	11,460,709
有形固定資産	7,725,126	8,882,939
建物及び構築物	3,430,137	3,889,500
土地	3,052,399	3,358,323
その他	1,242,589	1,635,115
無形固定資産	291,892	208,509
投資その他の資産	2,977,108	2,369,260
投資有価証券	2,572,240	1,857,151
その他	414,254	521,469
貸倒引当金	△ 9,386	△ 9,360
資産合計	24,892,252	23,839,026

(単位：千円)

	当 期 2021年3月31日現在	前 期 2020年3月31日現在
負債の部		
流動負債	9,550,936	8,017,429
支払手形及び買掛金	3,573,723	3,092,620
その他	5,977,213	4,924,809
固定負債	1,808,721	1,826,083
負債合計	11,359,658	9,843,513
純資産の部		
株主資本	12,420,917	13,370,934
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,288	3,151,288
利益剰余金	9,198,268	10,148,239
自己株式	△ 28,640	△ 28,593
その他の包括利益累計額	1,111,676	624,578
その他有価証券評価差額金	1,111,676	624,578
純資産合計	13,532,593	13,995,513
負債及び純資産合計	24,892,252	23,839,026

連結損益計算書

	当 期 2020年4月 1日～ 2021年3月31日	前 期 2019年4月 1日～ 2020年3月31日
売上高	31,666,615	33,328,140
売上原価	25,067,391	26,806,127
販売費及び一般管理費	5,821,122	6,122,380
営業利益	778,100	399,632
営業外収益	180,272	147,187
営業外費用	62,645	60,862
経常利益	895,727	485,958
特別利益	1,609	2,701
特別損失	1,535,950	30,500
税金等調整前当期純利益	△ 638,613	458,159
法人税、住民税及び事業税	233,180	235,209
法人税等調整額	△ 24,716	△ 45,409
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 847,076	268,359
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 847,076	268,359

(単位：千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期 2020年4月 1日～ 2021年3月31日	前 期 2019年4月 1日～ 2020年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,512,208	1,106,029
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,306,703	△ 1,759,222
財務活動による キャッシュ・フロー	607,723	399,543
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,813,227	△ 253,648
現金及び現金同等物の 期首残高	4,535,298	4,788,947
現金及び現金同等物の 期末残高	6,348,526	4,535,298

(単位：千円)

◎ホームページのご案内◎

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<http://www.seiko-co.com/>



新型コロナウイルス感染症対策

連結子会社である株式会社エコノス・ジャパンでは「エコノアクア」を製造販売しております。エコノアクアは大手食品工場で高い評価を得ている同社の「炭酸次亜水製造装置」から生成される除菌水の名称であり、経済産業省の調査で新型コロナウイルスの除菌並びに消毒に効果が認められた非電解型次亜塩素酸水です。

エコノアクアはインターネット通販のAmazon、楽天市場などで発売されております。



『誰もが愉しめる究極のFRピュアスポーツカー』 新型BRZ Coming Soon

BRZの名前の由来は、「BOXERエンジン」「Rear Wheel Drive」「Zenith＝究極のピュアスポーツカー」。新型は、今までの延長線上ではなく、さらに一段上を狙って開発されました。走りへの期待を高める躍動感とスポーツカーとしての性能を追求することで“乗る人すべてが、安心して自由自在に愉しめる”そんな新しい時代のスポーツカーとなっております。乗る人のカーライフに「笑顔」と「若さ」という活力をご提供します。

只今、進化を語る「新型BRZジャパンプレミアブック」を連結子会社である静岡スバル自動車株式会社にて無料配布中です。



会社概要

(2021年3月31日現在)

社名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設立	1939年(昭和14年)5月18日
資本金	1億円
従業員数	386名

役員

(2021年6月25日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取締役	大石 透
取締役	鈴木 康之
取締役	山下 一弘
取締役	鈴木 浩之
取締役	伏見 民生
取締役	鈴木 孝典
社外取締役	小林 和仁
常勤監査役	櫻井 嘉夫
社外監査役	戸塚 伸久
社外監査役	大津 善敬
社外監査役	山口 貴史

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数 (自己株式52,506株を除く)	6,430,817株
株主数	980名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.49
鈴木 恵子	986,370	15.34
有限会社ティエムケイ	617,600	9.60
株式会社静岡銀行	311,500	4.84
株式会社清水銀行	309,290	4.81
清水食品株式会社	204,000	3.17
静甲従業員持株会	145,400	2.26
株式会社日本カストディ銀行	135,100	2.10
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.62
中島 和信	99,900	1.55

(注) 持株比率は自己株式(52,506株)を控除して計算しております。